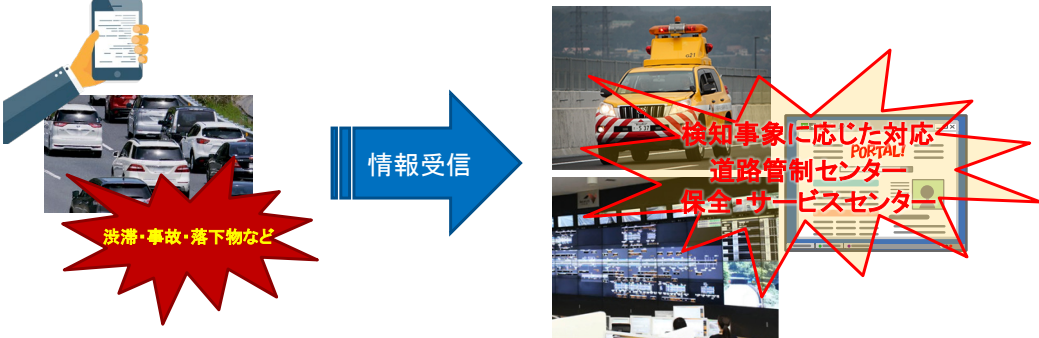



## 重点テーマ 1: 移動体監視による路面状況等把握の効率化

部会名	SNS など外部情報による業務高度化
代表団体	(株) フジミック
実証内容	<p>・ ソーシャル・ネットワーキング・サービス（以下、SNS）などで投稿されている画像や動画（外部情報）のうち、高速道路で発生している交通事故などの緊急事象を速やかに抽出し状況把握する。</p> <p>・ 当実証では、「Spectee（スペクティ）※1」「FASTALERT（ファストアラート）※2」という2製品を同時に実証する。</p>  <p><b>【実証状況】</b></p>  <p>※1：Specteeは、株式会社 Spectee が提供する SNS 上に投稿される災害・事故情報をリアルタイムに収集し、報道機関向けなどに配信するサービス。</p> <p>※2：FASTALERTは、株式会社 JX 通信社が提供する SNS 上に投稿される災害・事故情報をリアルタイムに収集し、報道機関向けなどに配信するサービス。</p>
検証内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活用ケースの洗い出しおよび業務サイクルへの落とし込み</li> <li>・ 現場状況把握の迅速性を検証</li> </ul>
実証場所	NEXCO 中日本 道路管制センターなど 34 拠点
実証開始時期	2020 年 1 月

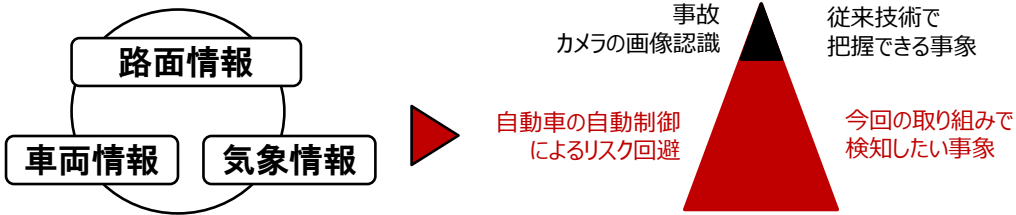
## 重点テーマ 1: 移動体監視による路面状況等把握の効率化

部会名	走行車両によるセンシングデータを活用した経年変化抽出技術の検証
代表団体	ジャパン・トゥエンティワン（株）
実証内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 走行車両搭載の ADAS<sup>※1</sup>（衝突防止補助警報システム）車載単眼カメラ<sup>※2</sup> からセンシングした点群線図データを解析し、高速道路上の地物変化を抽出・状況把握を実証する。</li> <li>・ まずは、走行中にカメラから得られる画角範囲で抽出可能な固定物を実証対象とする。</li> <li>・ 早期実証に向け、NEXCO 中日本が保有する維持管理車両に搭載する。</li> </ul> <div data-bbox="746 723 1078 1070" data-label="Image"> </div> <p>※1：ADAS（Advanced driver-assistance systems）とは、「先進運転支援システム」と訳され、自動車に搭載されたセンサーなどから得た情報を基に、交通事故につながるような危険を検知。またドライバーによるヒューマンエラーを防ぐために、アクセル、ブレーキ、操舵<sup>そうだ</sup>などの運転行動に関与することによって、交通事故を未然に防止するための装置・システムである</p> <p>※2：車載単眼カメラには、Mobileye 社（モービルアイ 本社：イスラエル）の製品で Mobileye8（モービルアイ・エイト）を使用する。</p>
検証内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活用ケースの洗い出し及び業務サイクルへの落とし込み</li> <li>・ 現場状況把握の迅速性を検証</li> </ul>
実証場所	NEXCO 中日本管内の高速道路
実証開始時期	2020 年 2 月

## 重点テーマ 1: 移動体監視による路面状況等把握の効率化

部会名	交通事故リスクの予測技術の検証
代表団体	(株) 日立ハイテクノロジーズ
実証内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事故発生リスクの予測アルゴリズム<sup>※1</sup>を活用して、当社の道路情報（道路構造、天候、車両密度など）に基づき、高速道路事故発生リスクの予測を実証する。</li> <li>・ その予測結果を活用した事故抑制を目的として、走行中の車両（当面は維持管理車両が対象）へ通知（アラート機能）を実証する。</li> </ul> <p>The diagram illustrates the data flow for accident risk prediction. On the left, '車両' (Vehicles) are represented by yellow boxes, and 'NEXCO 中日本' (NEXCO Chū-Nihon) is represented by an orange box. A blue arrow labeled 'リアルタイム車両挙動データ (将来構想)' (Real-time vehicle movement data (future concept)) points from the vehicles to a central green box labeled '日立ハイテクノロジーズ' (Hitachi). A pink arrow labeled '道路情報 (道路構造、天候、車両密度など)' (Road information (road structure, weather, vehicle density, etc.)) points from the NEXCO box to the Hitachi box. From the Hitachi box, a pink arrow labeled '事故リスク予測' (Accident risk prediction) points to another orange box labeled 'NEXCO 中日本'. From this second NEXCO box, a pink arrow points to a note: '※副次的効果(想定) リスク予測情報を事故発生時の迅速対応に活用 (事故の早期特定など)' (Secondary effects (assumed): Utilizing risk prediction information for rapid response at the time of an accident (early identification of accidents, etc.)). A pink arrow labeled '事故リスクアラーム' (Accident risk alarm) points from the Hitachi box back to the vehicles.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来的には、道路情報のみならず個々の車両の走行データといった動的ビッグデータも対象とする予定である。</li> </ul>
検証内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活用ケースの洗い出し及び業務サイクルへの落とし込み</li> <li>・ 保有している解析パラメータを活用し事故リスク解析の精度を検証</li> </ul>
実証場所	NEXCO 中日本管内の高速道路
実証開始時期	2020年2月

## 重点テーマ 1: 移動体監視による路面状況等把握の効率化

部会名	冬季路面のリスク管理による業務高度化
代表団体	本田技研工業（株）
実証内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両情報や気象情報および路面の撮影画像情報などを用いて、従来技術で把握できなかった冬季路面の走行リスクを定量的に把握できるかを検証する。</li> <li>・路面の撮影画像が取得できない状況下で、路面状態変化による走行リスクを迅速かつ的確に把握する手法を実証する。</li> </ul> 
検証内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活用ケースの洗い出し及び業務サイクルへの落とし込み</li> <li>・路面状態変化に伴う走行リスク検知の検証</li> </ul>
実証場所	NEXCO 中日本管内の高速道路
実証開始時期	2020年2月